

9月初旬に関西方面のホールから、銀座「回胴黙示録カイジ3」を狙った電波ゴトが発生したとの情報が入りました。これまでの電磁波ゴト被害の発見経緯は、電磁波センサーの発報や被害遊技機において不審なエラーの発生がきっかけだったりしました。

売り上げデータと現金が合わないことから「カイジ3」のゴト発覚

しかし、今回の被害発見経緯は売上データと実際の現金が合わない

かったという電磁波ゴト被害の発見経緯としてはちょっと変わったことがきっかけでした。

閉店後に売上データと実際の現金が合わなかったことから原因をいろいろと調査したところ、メダルサンドの売上信号が実際の売上以上に計上されているという不思議な現象が原因であるということが判明しました。

この実際の売上以上に計上されるという不思議な現象が発生している時間帯の防犯カメラの録画映像を確認してみたところ、不審な3人組が銀座「回胴黙示録カイジ

3」を囲んでおり、実行犯と思われる人物がポケットから取り出した物（ゴト器具）を液晶画面横右側付近に当てている仕草が映っておりました。

また、実行犯と思われる人物がポケットから取り出した物（ゴト器具）を液晶画面横右側付近に当てている時に、当該台の枠ランプが異常点滅していたので後すぐにATに突入したことから、電磁波ゴトの被害であると判明しました。録画映像には、電磁波の仕込み完了後に実行犯が退店し、壁役が打ち子と交代して約四千枚のメダ

ルを出している姿が残されていますが、電磁波ゴト被害に気がついたのが閉店後だったので残念ながら実被害が発生してしまいました。

関西方面から多数報告  
過去同様の手口だが  
かなり高出力といえる

この最初の被害情報以降、関西方面の多数のホールから「回胴黙示録カイジ3」での電磁波ゴトの被害情報が入ってきました。被害に遭ったお店によっては、メダルサンドの売上データ異常だけでなく、「回胴黙示録カイジ3」の隣接台でのホッパーエラーの発生などが確認されております。「回胴黙示録カイジ3」と同じサミー系の「化物語」を狙った電磁波ゴトにおいても、過去にはドアセンサーの異常発報や呼出ランプが故障するといった現象が周辺機器に発生していたので、これまでと同様に電磁波がかなりの高出力のもので使用していると思われます。

これらの被害状況から過去に発生しているAT・ART機を狙った電磁波ゴトと同様の手口と思わ

# ゴトに勝つ 高石隆一

# 50

## 「沖縄3」に直撃電磁波の情報 「新器具で少数精鋭」の暗躍か





れます。電磁波で偽のレア小役情報（波形電波）をサブ基板に送り込み、サブ基板が誤認識した結果、ATやARTに突入し大量の上乗せをしてしまうというものです。短時間に大量の偽のレア小役情報を送り込むので、レア小役による演出が多数発生して遊技台の枠ランプの異常点滅などという現象が発生するのです。

「カイジ3」の場合は液晶画面横右側付近にゴト器具を当てる

関東方面で発生した「回胴黙示録カイジ3」の電磁波ゴトでも、実行犯と思われる人物が右袖口から取り出した物（ゴト器具）を液晶画面横右側付近に当てていたそうです。電磁波を当てていたと思われる「液晶画面横右側付近」というのは、通常のスロットであれば本来はリールがある位置で、「回胴黙示録カイジ3」の場合はリールの位置が液晶画面になっております。このリールではなく液晶画面になっていることが、他のサミー系と筐体内部に違いを生んでいる可能性があり、これまでのサミー系電磁波



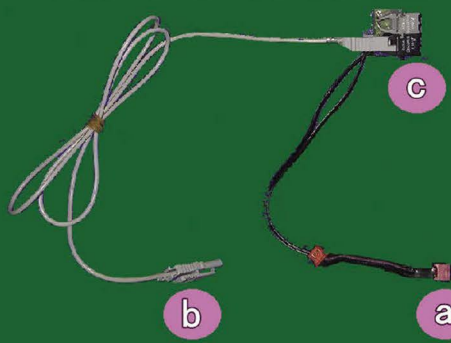
ゴトであれば、実行犯は狙っている遊技機の「スタートレバーの左側付近」に電磁波を当てていますが、今回の「回胴黙示録カイジ3」の場合は「液晶画面横右側付近」に当てている姿が多く目撃されております。これらの状況から「回胴黙示録カイジ3」に電磁波センサーを設置している場合は、受信アンテナの位置を見直す必要がありますので、早急に受信アンテナの設置位置の変更をお願いいたします。せっかく高いお金を出して購入にした各種センサーやゴト対策部品は、定期的なメンテナンスを実施して有効活用することが大切で、メンテナンス不足によって、出さなくてもよい被害を出すことの無いように、正しい情報を元に正しいメンテナンスをお願いいたします。

ATが長時間続いたり大量の出玉所持など必ず「連絡網」の徹底を

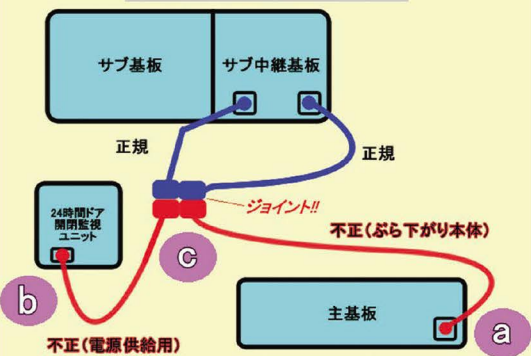
また、電磁波ゴトは、今回の銀座「回胴黙示録カイジ3」以外にサミー「パチスロ化物語」、サミー「パチスロ攻殻機動隊S.A.C.」、山佐「パチスロ鉄拳2nd」、山佐「パチスロ鉄拳デビルver.」での被害が全国的に多発しており、これらの機種に關してもレートや設置台数関係なく被害に遭っておりますので、バラエティコーナーや低貸しコーナーのたった1台の設置であつても注意が必要です。また、サミー系同一筐体機のもの他の機種への波及も十分に考えられますので、警戒の程、宜しくお願いいたします。電磁波センサー設置以外の対策方法として、AT・ART機を狙ったセルゴトのケースと同様に、ATが長時間続いている・大量の出玉を所持しているといった異常な出方をしている場合や遊技機やメダルサンドなどの周辺機器で不審なエラーが発生した状況などを確認した場合には、必ず「報告・連絡・相談」を実施するというビジネスマニュアル「ハウレンソウ」をホールスタッフに徹底させてください。また、その「ハウレンソウ」を受けた役職者の方は、防犯カメラの録画映像を確認するよう徹底をお願いいたします。その際には、



過去に見えられたぶら下がりの(参考写真)



ぶら下がり接続状況(図解)



当該筐体においては、ミドルドア(リールボックス)開閉タイプであることから、ミドルドアを開けない限り内部が見られない仕様となっております。通常業務ではなかなか目が行き届か

現在遊技している人物は打ち子の可能性が高いため、現在遊技している人物より以前に遊技していた人物まで遡って確認するようお願いいたします。

## 中古機に「ぶら下がり」ミドルドアを開閉して定期的な点検が必要

過去にも様々な機種から見つかった「ぶら下がり」ですが、8月に関東方面のホールで中古購入したミズホ「アナザーゴッドハーデス」奪われたZ E U S Ver.「」からも「ぶら下がり」が発見されたとの情報が入ってきました。情報によると見つかったぶら下がりは、主基板とサブ基板(サブ

基板右側の中継基板)を繋ぐ光ファイバー(サブハーネス)にジョイントするかたちで取り付けられており、電源供給用として24時間ドア開閉監視ユニットにも分岐して取り付けられていたとのこと。これらの形状は、過去にメーシ「バジリスク」甲賀忍法帖「II」やエレコ「ミリオングッド」神々の系譜「Z E U S Ver.」などのユニバーサル系スロットから見つかった「ぶら下がり」と同タイプのようにです。「ぶら下がり」によって、セット打ち(不正プログラムを起動させる特殊な遊技手順)を行うことで強制的にATの誘発や特定フラグの注入、ゲーム数上乘せ等を行うものと推測されます。

ない箇所であることから、定期的なミドルドアを開閉してぶら下がりが仕込まれていないかどうかの点検を実施いただくようお願いいたします。

なお、ユニバーサル系スロットにおいては、多くの機種で同様の筐体構造が使用されていることから、被害懸念機種はユニバーサル系AT・ART機全般となります。今回のケースのようにぶら下がりが取り付けられた状態の遊技機が中古流通している可能性もありますので、中古導入された際には特に注意して点検確認を実施してください。

## 着席数分で大当たりすぐ打ち子と代わる直撃電磁波の挙動

8月中旬に、三洋「CRスーパー海物語IN沖縄3」で大当たり直撃の電磁波ゴトの可能性が疑われる事案が発生したとの未確認情報が入りました。この未確認情報を受けて、全国のおちこちの店舗に「CRスーパー海物語IN沖縄3」での不審な挙動事例について情報収集をしたところ、7月以降から一

部のチェーンやホールで電磁波ゴトが疑われる遊技者の不審な挙動やデータ上で甘い状況が続いているといった事案が散発していることがわかりました。

また、「CRスーパー海物語IN沖縄3桜マックス」で、実行役と見られる人物が着席後数分で大当たりを引き当て、打ち子と見られる人物に遊技を交代するという怪しい挙動も事例は少ないのですが複数の店舗で目撃されていました。

このような実行役が着席後数秒から1〜2分程度の短時間で大当たりを引き当てて打ち子と遊技を交代するといった挙動は、前シリーズの「CRスーパー海物語IN沖縄2」等を狙った大当たり直撃の電磁波ゴトでよく見られた挙動です。

## 多くのゴト師たちが動きだすまで不明手口の全貌は遅れる

現段階ではゴトの確証が得られていない未確認情報となりますが、このような情報の入り方は過去のゴト事例でも多くあったパターンです。そのパターンとは、新しいゴト器具を開発したがその手口に



よる儲けが多くて、店舗側が被害に気がついて対策をすることを避けるためにゴトグループのごく一部のトップクラスの者だけが使用を許可されたゴト手口で、少数精鋭のゴトグループによる暗躍でひっそりとがっばりと儲けているが、その実態は精度の低い粗悪なコピーゴト器具の登場などで多くのゴトグループが動き出すまで確証がつかめないというものです。

長い期間噂で言われ続けていたゴト手口が、その被害機種の次世代機が登場するタイミングでゴト手口の全貌が明らかになるケースは過去に多数発生したパターンです。今回の「CRスーパー海物語IN沖縄3」の大当り直撃の電磁波IN沖縄3」の未確認情報も、過去のパターンと同様の可能性が高く、一部のゴトグループが暗躍しているものと思われれます。

## 「沖縄2」からの改善で タイミング信号は 解読しにくいはずが

前シリーズの「CRスーパー海物語IN沖縄2」等を狙った大当り直撃の電磁波ゴトの手口は、『ノイズ(大当りのタイミング信号)を読み取る機能』と『大当り直撃用の電磁波を放射する機能』の両方が備わった電磁波発信機(アンテナ)を使用して大当りを直撃させるというものでした。

具体的な犯行手順は①盤面表側のスタート周辺にアンテナを近づけ、ノイズ(大当りのタイミング信号)を読み取る。②読み取ったノイズを体感器と同調(※自動調整)させる。③同調後、アンテナから大当りのタイミングで電磁波が自動的に発射され(発射タイミングは大当りのタイミング)、スタートを回す。④電磁波でスタートが回るとそのスタートで大当りが発生するというものでした。

メーカーも前シリーズの「CRスーパー海物語IN沖縄2」等を狙った大当り直撃の電磁波ゴト被害の発生を受けて、「CRスーパー海物語IN沖縄3」ではかなりのゴト対策を実施しており、当然、簡単には大当りのタイミング信号を解読することは出来ないはずですが、しかし、ゴトグループは、なんらかの方法でメーカーの対策の上手を行っている可能性があると思つて状況を冷静に分析する必要性が

あります。

### 純正の電磁波探知機は 突破されてる可能性 不正検知信号の活用を

過去のゴト手口の特徴を踏まえた監視として、犯行時にはノイズ(大当りのタイミング信号)を読み取るために【盤面に身体の一部(手、腕、肘)を近づける】という仕草や【大当り確定後(大当り中)に遊技を交代する】という不審な挙動パターンに注意が必要です。また、ノイズの読み取りに関しては、ハンドル付近でゴソゴソとしてセルを挿入するというパターンもありました。

これらの不審な行為をコース巡回時等にホールスタッフが目撃した場合には、必ず報告することを徹底させることが重要です。メーカー純正の電磁波感知器に関しては、ゴト側が完全に突破している可能性が高いのですが、過去には発報して助かったケースもありますので、外部端子板の不正検知信号(黒端子13・14番)をホールコンやナンバーランプに上げるように設定して活用することもオススメ

海物語シリーズ



いたします。

電磁波ゴトは、電磁波自体が目に見えないものであることから、ゴトの発見はおろかゴトの存在自体の確証もなかなか得られない手口です。いつもお伝えしておりますが、点の情報に線にするのが弊社の仕事だと思っておりますので、皆様からの点の情報をお待ちしております。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち  
警備会社の指導員、セキユリティー会社を経て2003年、有限会社ジャパンセキユリテイサービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。また、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。「二期二会」が座右の銘。